

SAKURAカップ男子競技規則（2020年～）

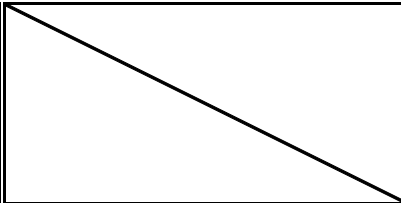
器具寸度

	初級	中級	上級
ゆか	12m×12m		
あん馬	円馬60～70cm	とび箱(中型4段)80cm	あん馬115cm
跳馬	とび箱100cm	跳馬120cm	跳馬125cm
鉄棒	160cm(マット上)	245cm(マット上)	265cm(マット上)
競技規則	SAKURAカップ適用規則及び、2018年度版中学校男子適用規則		
課題	規定演技(2018年～)	自由演技	自由演技

○アップ時に選手が行う技が未習熟で危険を伴うと判断できる場合は、主任審判の権限であらかじめ実施不可の警告を行います。この警告を無視して実施した場合は、その種目の得点は0点とします。

○規定の寸度に微妙に合わない場合は、近いほうに合わせる。

配点

	初級	中級	上級
要素		日本体操協会 男子U-12適用規則	日本体操協会 男子U-15適用規則
難度			
特別要求			
加点			
実施			
ゆか	SAKURAカップ規定演技 (2018年～)		
あん馬	円馬による旋回(7周) ※規定演技	SAKURAカップ競技委員会制定 男子中級あん馬規則	
跳馬	3助走2試技	日本体操協会 男子U-12適用規則	
鉄棒			

採点・特別要求

	初級	中級	上級
ゆか	SAKURAカップ 規定演技採点規則	日本体操協会 男子U-12適用規則	日本体操協会 男子U-15適用規則
あん馬		SAKURAカップ競技委員会制定 男子中級あん馬規則	
跳馬		日本体操協会 男子U-12適用規則	
鉄棒			

○初級クラスにおいて9.00以上の演技に対し0.05採点を採用する。

SAKURAカップ体操競技大会、男子中級 あん馬 採点規則

種目 ⇒ とび箱での実施

Dスコア：難度点 0.2 × 6 周以上 = 1.2

グループ 0.5 × 3 = 1.5

- ・グループⅠ…旋回系の技
- ・グループⅡ…3/3 移動技（前後）※どちらか片方の場合は 0.3
- ・グループⅢ…終末技（下向き転向下降り or 旋回倒立下降り）

※終末技の認定については、上記二つの系統の技のみを認定する。
（上向き下降りについては、下降り技としてのグループ点は与えない。）

Eスコア：10.0

代表的減点内容	小欠点 (0.1)	中欠点 (0.3)	大欠点 (0.5)
旋回のリズム不良（全体で）	*	*	*
腰の位置が低い（全体で）	*	*	*
腰が曲がる（全体で）	*	*	*
スピード感に欠ける（全体で）	*	*	*
左右のバランスが不良（全体で）	*	*	*
停止、及び落下（1回につき）			*
両手支持を示さないで降りる			*
着地位置があん部から外れる	*	*	
転向下降りでの大きさがいい		*	

「NDについて」

技数不足については、U-12 規則に基づき、

5 技（周） -1.00 / 4 技（周） -3.00 / 3 技（周） -4.00 / 2 技（周） -5.00

1 技（周） -6.00 のNDとなる。